



# 人事制度改革の効果測定・評価と 継続的改善への基本的手順と手法

- 日 時● 2019年4月26日(金) 13:30~16:30
- 会 場● 東京・紀尾井町 厚生会館 5F 紅梅
- 講 師● (株)日本総合研究所  
リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネジャー  
林 浩二氏

1969年生まれ。京都大学経済学部卒業。コーネル大学大学院修了(労使関係修士)。厚生労働省を経て2001年より(株)日本総合研究所。人事労務管理を専門フィールドとし、国内系から外資系まで幅広い企業において人事制度改革を支援。コンサルティング実績は製造業・建設業・商社・銀行・IT産業・小売業・サービス業・広告業・メディア産業等多数。著書：「進化する人事制度『仕事基準』人事改革の進め方」(労務行政)等、多数。

## ◆ 開催にあたって

人事制度改革した企業は多くあるが、狙いどおりの効果を上げているかを検証している企業は果たしてどれくらいあるだろうか。この状況を踏まえ、施策が有効に機能し、諸課題が解決されるために人事制度改革の効果測定・評価し、継続的改善につなげていくための基本的な手順と手法の重要性と実践のために本研究会のご案内を申し上げます。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

《詳細は裏面をご覧ください》

### ●受講料● 1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円 本体価格 30,000円
一般	39,960円 本体価格 37,000円

- 正会員の登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当会ホームページでご確認いただけます。  
(〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕)
- お申込み後(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- 最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。
- 本申込書をFAXでお送りいただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、番号をお間違えないようご注意ください。

一般社団法人企業研究会 担当：田口  
〒102-0083 千代田区麹町5-7-2 麹町MFPR 麹町ビル2F  
TEL 090-6797-1794 (田口)・03-5215-3511 (代表)  
e-mail taguchi@bri.or.jp/FAX 03-5215-0951

**申込方法** ホームページからのお申込みが便利です。 <https://www.bri.or.jp>  
\*セミナーの最新情報もご覧いただけます。

企業研究会セミナー

191365-0505(※)		2019.04.26	
<b>申込書</b> 人事制度改革の効果測定・評価と継続的改善への基本的手順と手法			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
e-mail			

<個人情報の利用目的>お客様の個人情報は、セミナー申込受付後のご連絡やご請求等を行うため、また、ダイレクトメール(DM)の発送等、当会主催の各種事業をご案内するために活用させていただきます。

\*DMの停止・登録情報変更は、専用ダイヤル【03-5215-3512】までご連絡下さい。

# 人事制度改革の効果測定・評価と継続的改善への基本的手順と手法

日時：2019年4月26日(金) 13:30~16:30

講師：(株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネジャー  
林 浩二氏

## ●プログラム●

### ポイント

#### ① 改革目的の明確化

人事制度改革に着手すると、いつの間にか制度を変えること自体が目的にすり替わってしまいがちである。制度改革が目指すところを明確化し、関係者間で十分な認識共有を図ることが不可欠である。

#### ② KPIの設定

「どのような状況が実現されれば、改革目的が達成されたと言えるのか」「その状況は何を見れば確認できるのか」を検討し、シンプルで直感的にも分かりやすいKPIを設定することが重要である。

#### ③ ES調査(従業員意識調査)の活用

ES調査を定期的実施しておくことで、改革前後を比較しながら効果を検証することが可能になる。

#### ④ 改革効果の測定と継続的改善

KPIを手掛かりにして改革の効果を検証し、継続的な改善につなげる。制度を変えたからといってすぐに効果が現れないことも多いので、制度導入後4~5年程度は経年で効果を追いかけていく必要がある。

## 1. 改革目的を明確化する

- (1) 何を目指した制度改革なのか
- (2) 目的に照らして制度改革の内容は妥当か
- (3) 改革効果の測定・評価という「後工程」まで考慮する

## 2. 改革効果を測定・検証する

- (1) KPIを設定し、必要なデータを収集する
- (2) 改革効果を測定・検証する
- (3) 結果をどのように解釈するか

## 3. 改革効果を評価し、継続的改善につなげる

- (1) 改革効果を評価する - 制度改革の目的は達成されたのか? -
- (2) 問題の原因を分析し、改善につなげる
- (3) 継続的なフォローアップの重要性

## 4. まとめ